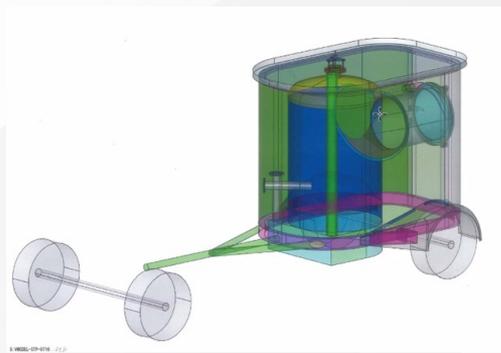


JAYCLE

ごみを運ばず、燃やさず、資源化する
分散型アップサイクルインフラ



メディア掲載・ビジコン受賞多数



東京都主催の官民共創型
アクセラレーションプログラム
「ソーシャルXアクセラレーション」
のファイナリストに選出

官民共創型アクセラレーションプログラム



第2期ファイナリスト決定

多様な主体によるスタートアップ支援展開事業
東京都 TOKYO SU TEAM

愛知県・Station AI主催
ビジネスプランコンテスト優勝



SusHi Tech Tokyo 2024
Global Startup Program
43か国507社参加の中から
Innovative Startup受賞

地銀5行共催
X-Tech Innovation 北海道地区優秀賞



受賞・採択一覧

情報公開日	タイトル
2024年9月19日	北九州市産業経済局による「令和6年度企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業」に採択
2024年9月18日	愛知県およびDTVSによる「Aichi Manufacturing Acceleration Program」に採択
2024年7月19日	大阪産業局による「OIHスタートアップアクセラレーションプログラム(OSAP)」第17期に採択
2024年7月4日	シード期スタートアップ初の「正会員」として、一般社団法人 資源循環推進協議会に加入
2024年7月2日	愛知県による「革新事業創造事業費補助金」に採択
2024年6月26日	東京都主催の官民共創型アクセラレーションプログラム「ソーシャルXアクセラレーション」のファイナリストに選出
2024年6月21日	東京都主催SusHi Tech Tokyo 2024より「SusHi Tech Award」の「Innovative Startup」を受賞
2024年6月14日	東京都スタートアップ社会実装促進事業「2024年度PoC Ground Tokyo」に採択
2024年6月10日	東京都によるスタートアップ向けプログラム「ASACスタートアップアクセラレーションプログラム」に採択
2024年5月31日	CHANGE by ONEJAPAN主催「変化一武闘会」にてグランプリを受賞
2024年5月9日	「2023年度 KUMIHIMO Tech Camp with Murata」にて敢闘賞を受賞
2024年4月9日	ハーチ主催のサーキュラーエコノミー特化型創業支援プログラム「CIRCULAR STARTUP TOKYO」参加チームに選出
2024年3月14日	コクヨ・MOV主催のシードステージ限定ピッチイベント「登龍モヴ」にて優勝
2024年3月3日	公益財団法人コーナン財団主催「第5回ビジネスモデル・コンテストAward2024」にて「特別賞」を受賞
2024年1月24日	「アクセラレーションプログラム未来X(mirai cross)2024」のサステナビリティ部門で受賞
2024年1月30日	「ひろしまユニコーン 10」STARTUP ACCELERATION2023の最終候補者に選出
2024年1月24日	「X-Tech Innovation2023」の北海道代表のグランプリ・ファイナリストに選出
2023年11月9日	「Japan Mobility Show 2023」のスタートアップピッチコンテスト15社のファイナリストに選出

メディア掲載一覧

情報公開日	タイトル
2024年9月12日	KEPPLEにて、当社の資金調達についてご紹介いただきました
2024年9月12日	BRIDGEにて、当社の資金調達についてご紹介いただきました
2024年9月12日	創業手帳にて、当社の資金調達についてご紹介いただきました
2024年6月17日	GREEN×GLOBE Partnersに、CEO小柳のインタビュー記事が掲載されました
2024年4月30日	TOMORUBAに、CEO小柳のインタビュー記事が掲載されました
2024年4月25日	MOV Channelに、CEO小柳のインタビュー記事[後編]が掲載されました
2024年4月24日	MOV Channelに、CEO小柳のインタビュー記事[前編]が掲載されました
2024年4月22日	電気新聞に、当社事業についての記事が掲載されました
2024年4月6日	テレビ東京「全力イノベーターズ」に代表・小柳が出演
2024年3月26日	TSG STORIESに、CEO小柳のインタビュー記事が掲載されました

登壇一覧

情報公開日	タイトル
2024年9月12日	寺田倉庫によるシード期スタートアップの成長を支援するインキュベーション事業「Creation Camp TENNOZ」に第1期生として採択ならびに登壇を選択
2024年9月6日	北海道179自治体向け地域課題解決型ピッチイベント「UPDATE179」に登壇
2024年9月5日	「Morning Pitch」に当社代表・小柳が登壇
2024年9月4日	IAE主催の「IAEオープンイノベーションフォーラム2024」に当社代表・小柳が登壇
2024年8月23日	Venture cafe Tokyo主催の「浜松市のエコシステムにダイブ！～地域企業とスタートアップの協業・連携を目指して～」に当社代表・小柳が登壇
2024年7月4日	日本最大級のスタートアップカンファレンス「IVS2024 KYOTO」に登壇
2024年6月8日	ハーチ主催のサーキュラーエコノミー特化型創業支援プログラム「CIRCULAR STARTUP TOKYO」デモデイに登壇
2024年5月28日	一般社団法人渋谷未来デザイン主催の「Carbon Neutral Urban Design : MEETUP Vol.3」登壇
2024年5月17日	経済同友会主催「地方創生研鑽会～異業種交流で地域を活性化～」に登壇

小柳 裕太郎 「死後100年後の社会を変えるビジネスを創る」

学生時代 (小樽商科大学)

- フィリピン・ニュージーランド短期留学・アメリカ交換留学
- インドにバックパッカーとして旅
- 歌手・サッカー選手を目指していたが、就活でビジネスに感動

双日株式会社(2013-2018)

- 化学本部にて貿易営業。パプアニューギニア駐在経験。

株式会社サーキュレーション (2018-2019)

- 製造業経営者向け人材コンサル営業

株式会社電通(2019-2021)

- 広告以外領域の事業開発 インドネシアインフラ事業開発

U3イノベーションズ合同会社(2021-)

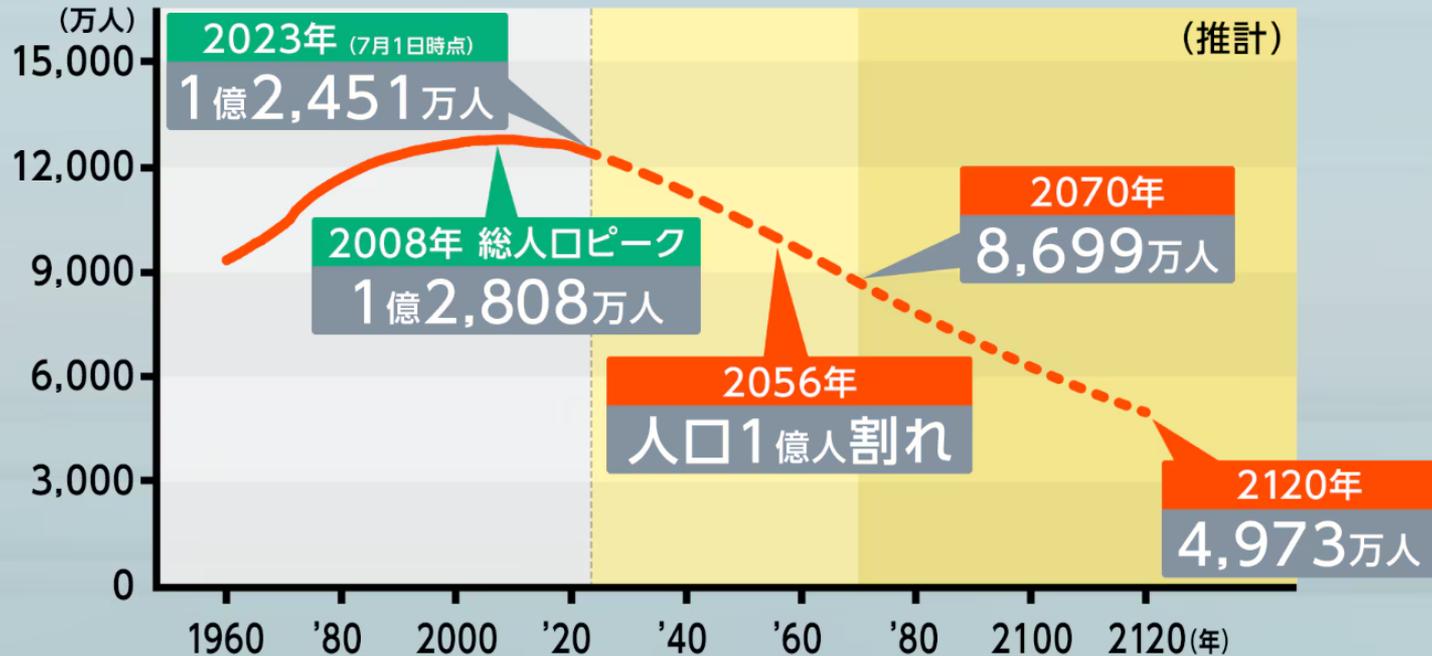
- 経産省カーボンニュートラル若手有識者
- 環境エネルギー分野で起業を決意し、同分野で事業開発

株式会社JOYCLE(2023.3 登記)



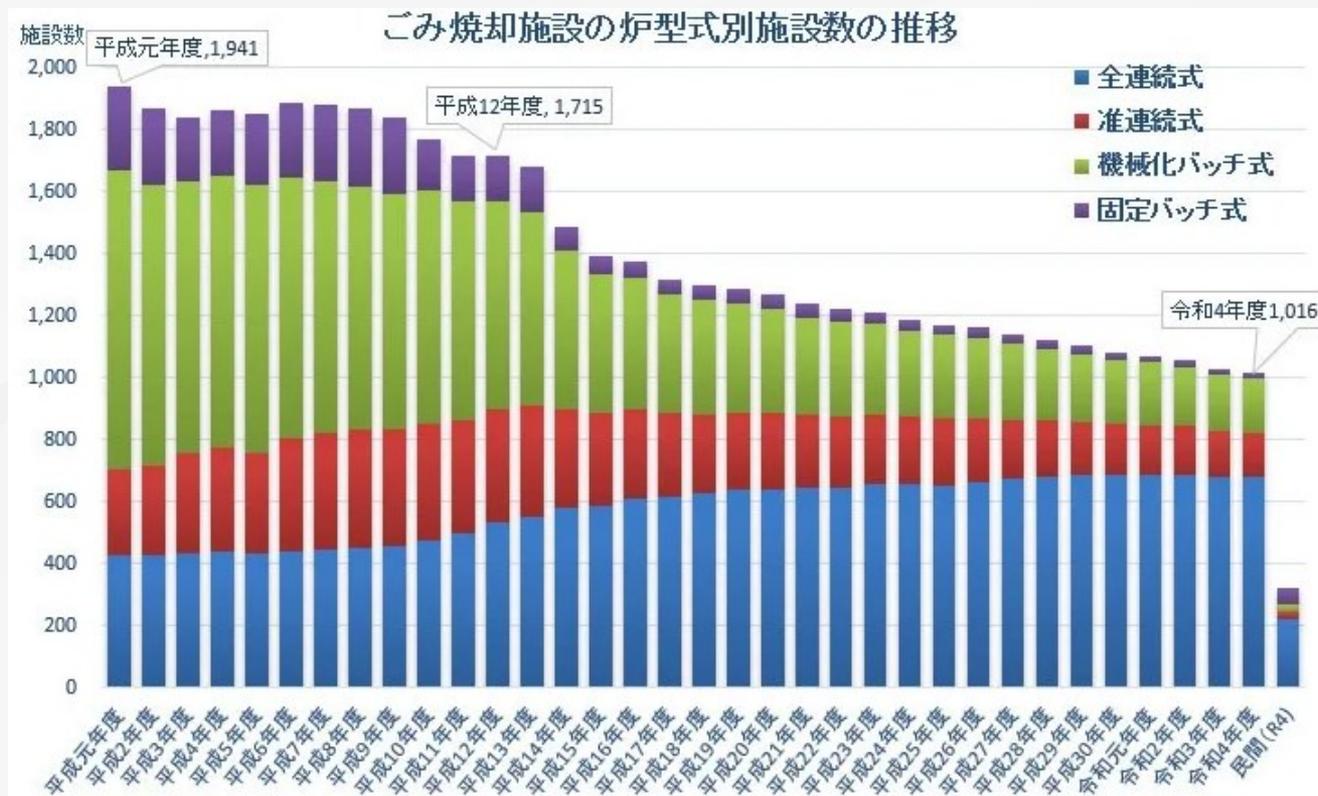
止まらない人口減少

総人口の推移



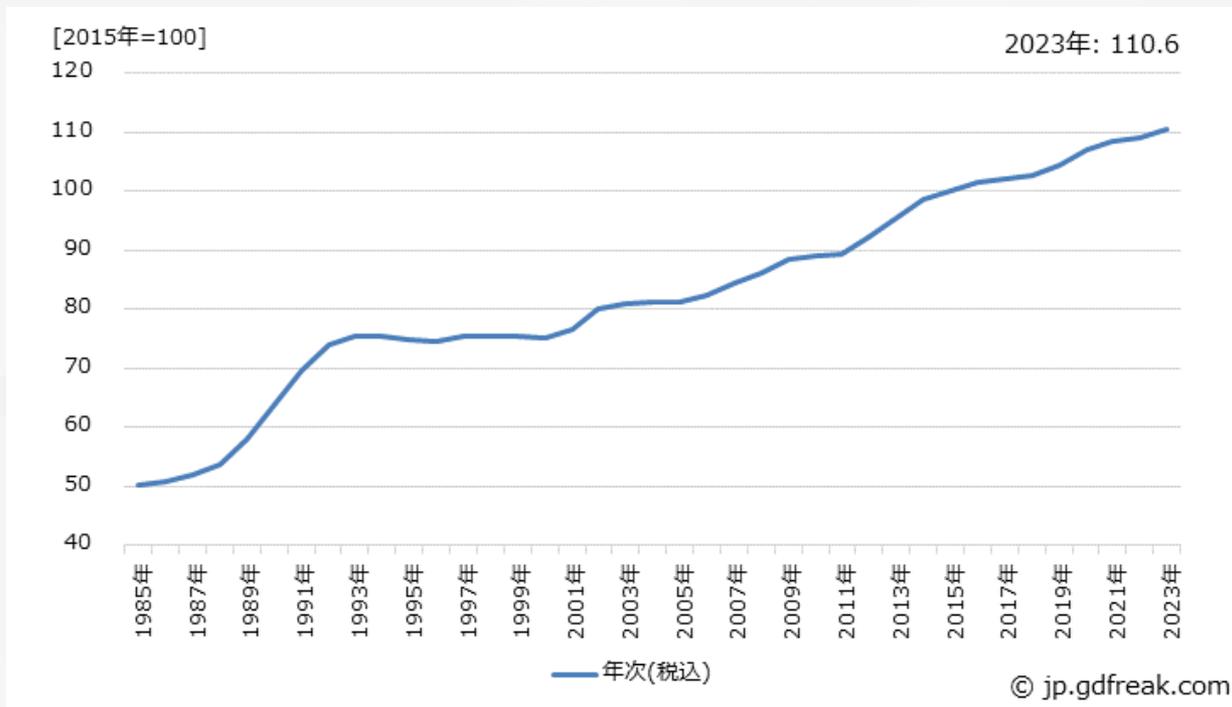
(総務省「国勢調査」「人口推計」 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」)

焼却施設数の閉鎖 ⇒ ごみ遠隔輸送発生



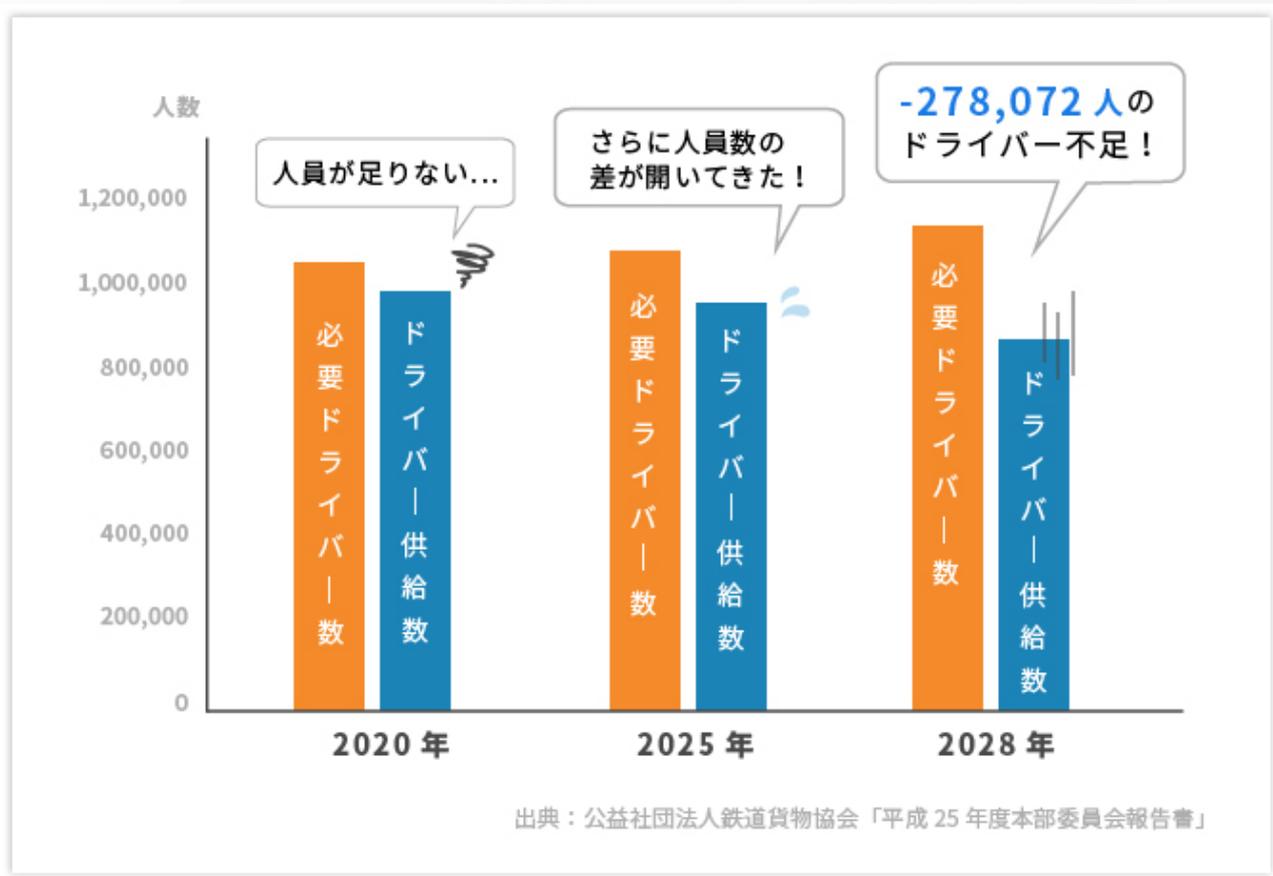
廃棄物処理費用は10年で10%以上上昇

～ 廃棄物処理の価格指数の推移（年次）～



日本銀行 企業向けサービス価格指数を基にGD Freakが改変

静脈産業のドライバーは深刻に不足



財政破綻で埋立しかできない自治体も

夕張のゴミ処理場の実態でした。



写真は焼却施設ですが、実は現在は使われていません。

老朽化によりダイオキシン対策基準を満たすことができず、

かといって破綻によって建て替えも取り壊しもできず、無残にその姿をさらしています。

じゃあ、夕張ではゴミはどうしているのでしょうか。



なんと、処理場にほったらかし。

生ごみも、燃えるゴミも、燃えないゴミも。

あたりに一面に漂う異臭と、信じられないほどの数のカラスたち。

おと「これって、一杯になっちゃったらどうするんですか？」

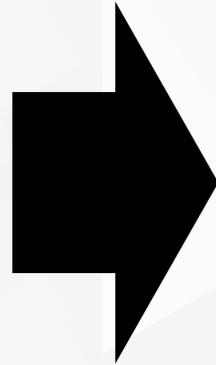
職員「辛い人口が減っているんで、あと5年くらいは持ちそうなんです」

おと「じゃあ、その後は...??」

人口減少に対応できる 小型資源化装置が必要

大型焼却炉

運送コスト
ドライバー不足
CO2問題



小型資源化装置

運ばず
燃やさず
資源にできる



効果・安全性可視化ソフトが必要



アナログな為

費用対効果
環境対効果
安全性

?

環境貢献を重視したハードが必要



古い技術の為

炭素固定
再エネ
資源循環



JOYCLE BOXが静脈産業の課題を解決

①大型・高価

②効果不明

③環境×



①小型・安価

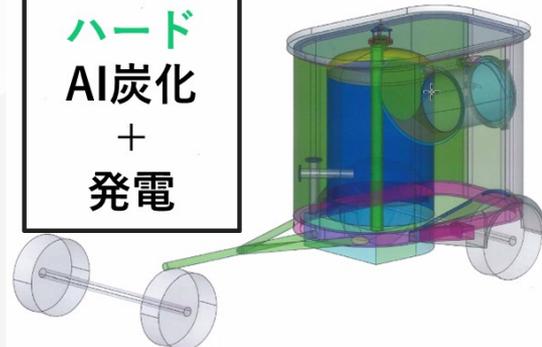
②データ可視化

③環境◎

②データ可視化ソフト
環境・経済貢献・安全性



③
環境貢献
ハード
AI炭化
+
発電



1/100になったセラミック灰資源は エコタイル建材にアップサイクル可能



月額サービスで初月からコストカット

メーカー

 プラント
 センサー

②調達

JYCYCLE

③売却



④一括支払


リース
・
産廃企業

①商談



顧客

⑤レンタル代
+ データ可視化費



病院・離島・地方自治体に**相性**◎

想定パートナー	課題	メリット
病院	コストが高い	ごみの出元で 資源化ができ 持続可能化しつつ コストカット ・PRに繋がる！
離島リゾート	焼却炉が置けない	
地方自治体	ドライバーがいなくなる	

100床以上の病院では、 3-5割以上のコストカット可能

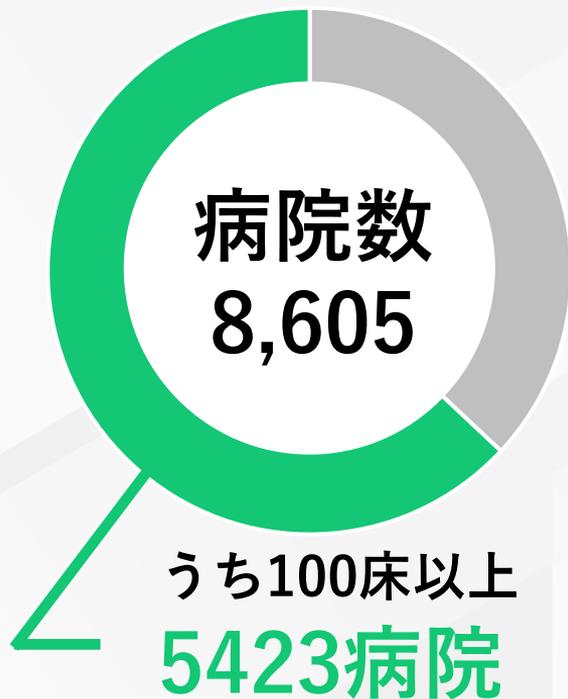
通常時の
産廃処理コスト

約1000万円/年

小型アップサイクル
プラントサービス費用

約500万円/年

国内病院市場SAMだけでも 1,100億円



国内病院マーケットSAM
 $2,000万 \times 5423$ 病院
= 約1,100億円

海外リゾートを含め約8兆円以上TAM



観光地のごみ処理市場：
年間成長率 7.5%

観光地ごみ処理
ソリューション市場（2030年）：
約500億ドル（約8兆円）

⇒分散・可搬型インフラとして
島を攻めるのはユニーク

BOARD POC実績3件 BOX提供内定9件 2025年内実績 6,000万円以上内定

～2024年

BOARD POC実施

3件実施中 (1件有償化)

- ① 沖縄県 石垣市 Y環境開発様：実施中
- ② 東京都 国立市 A苑様：実施中
- ③ 栃木県 矢板市 メーカーデモ機：実施中

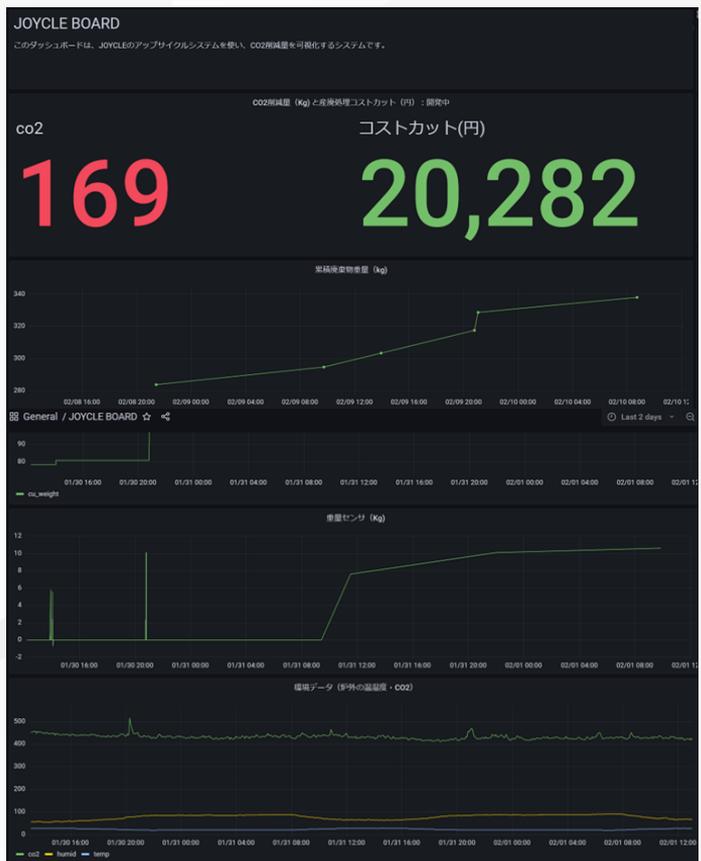
2025年内

BOX提供 9件内定

- ① 東京都 葛飾区
- ② 東京都 渋谷区
- ③ 愛知県 産廃業者 A
- ④ 愛知県 産廃業者 B
- ⑤ 広島県 スタジアム
- ⑥ 福岡県 病院
- ⑦ 福岡県 老健施設
- ⑧ 北海道 ホテル
- ⑨ 沖縄県 市役所

石垣島の産廃業者様は有償で使用

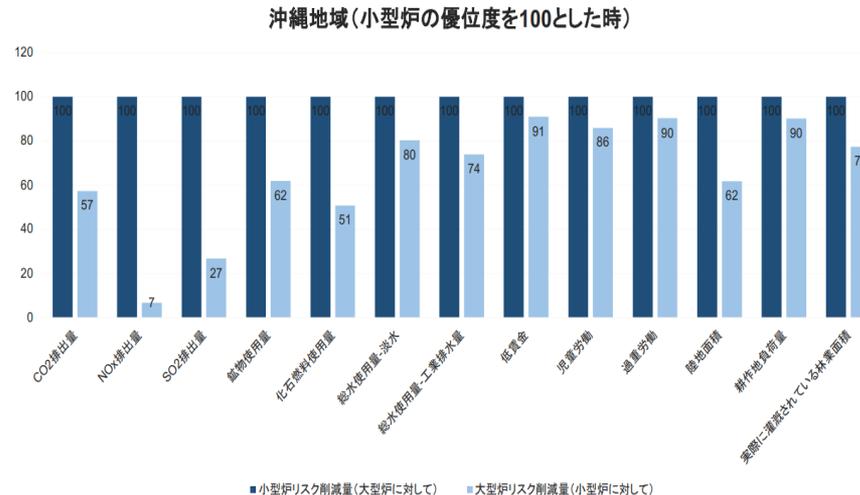
ごみ種類・重量・温度データを取得し、
CO2削減・コストカット効果を可視化



離島の多い沖縄では 小型装置がESG貢献効果が高い

結果：沖縄地域においては、小型炉のプロセスの優位性が大きい

- 測定したすべてのESG評価項目において、小型炉におけるリスク削減量が多い
- JOYCLEの事業展開によって、今回の結果以上のESG負荷削減が見込まれる



来年以降、より幅広くお使い頂ける
可搬型のインフラ事業も仕込み中

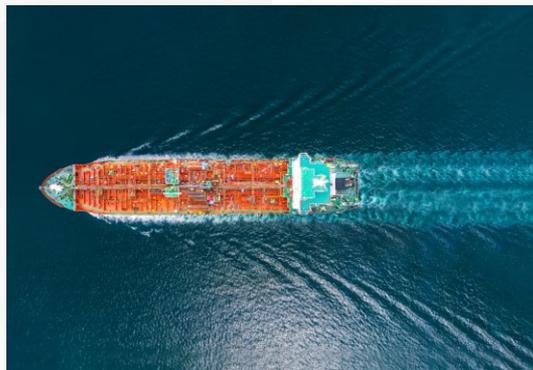
BOX常設の費用対効果が合わない エリアも多くある ⇒ 特に離島・地方

地方・離島におけるごみ処理

大型焼却炉を持ってない



遠方へ輸送・焼却処理



運ばず、燃やさず、資源化する
小型ごみ資源化装置
を常設するほどではない



BOXを適切にデリバリーするアプリ

JOYCLE SHARE立ち上げ準備中

処理依頼を
楽に・安く

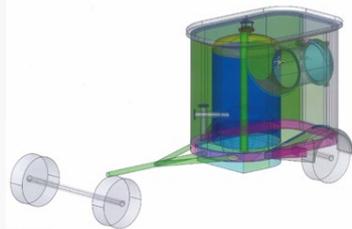
JOYCLE
データマッチし
装置をデリバリー

資源化
再エネ創出

病院・工場
の
ゴミ置き場

特許
出願済み

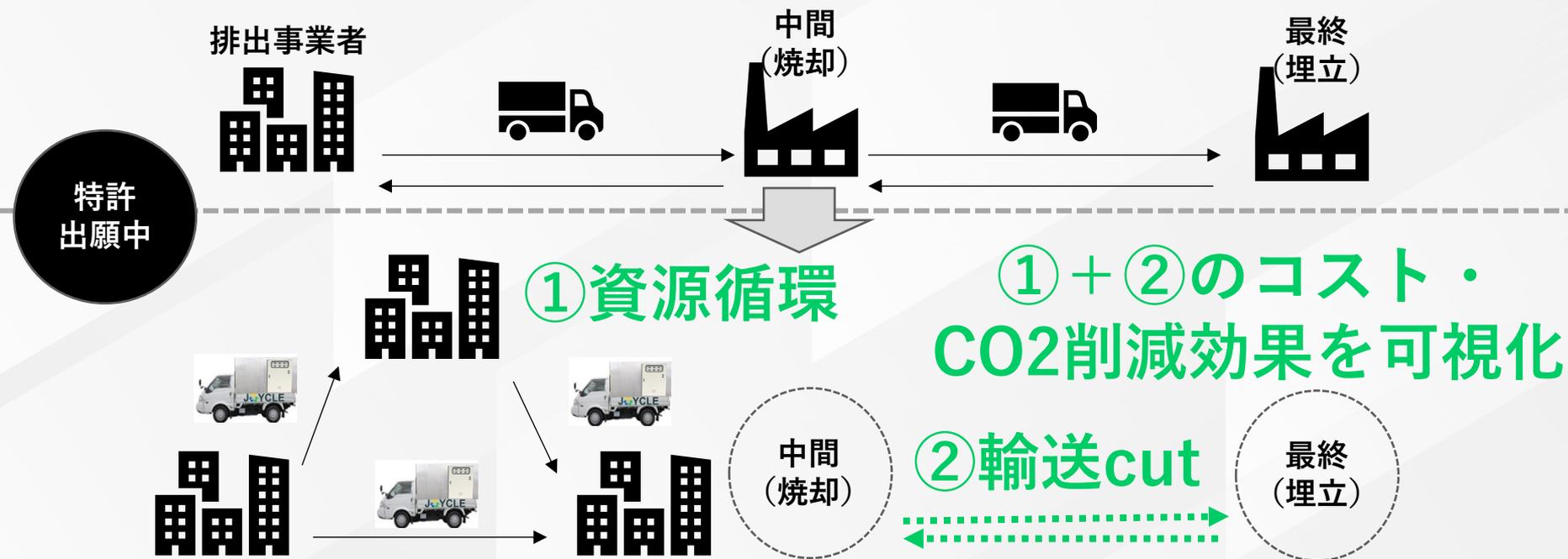
可搬型装置
による
発電・資源化



静脈コスト・CO2排出量を可視化し

最適なコスト・CO2削減を実現

自治体と連携し産廃処理ルートでのCO2を可視化



資源と喜びが循環する社会創出を目指し 創業1年で起業・IPO経験者が20名参画



CEO 小柳
総合商社・広告代理店・
人材ベンチャー・環境SUでの
事業経験・泥臭い巻き込み力で
「死後100年後の社会を変える」



CINO/渉外リーダー 矢口
Luup創業メンバー
外資アジア統括経験
渉外戦略のプロ



CSO兼CFO 山地
素材ベンチャーCEO経験
産学連携・資金調達のプロ



CPO 高橋
ピクシーダストテクノロジーズ出身
IPO経験者 ハード・ソフトのプロ



CHRO 上原
リクルート出身
人材・補助金のプロ



経営企画 角倉
Luup沖縄支社長・
総合商社出身
自治体連携・CSのプロ



COO/拡販戦略担当 道家
リクルート出身
To B営業・
リテール分野のプロ



IoTソフトウェアエンジニア 加藤
カーボンクレジット分野プロ
IoTソフトウェア開発のプロ



広報担当 早坂
SU事業開発経験も豊富
PR支援のプロ

ビジネス経験豊富な大企業・投資家が 創業期で投資参画し総額1.75億円を調達

=大手産廃=

=大手電力=

=IPO経験Fund=

=大手倉庫=



三友環境総合研究所



中部電力ミライズ

ほくてん



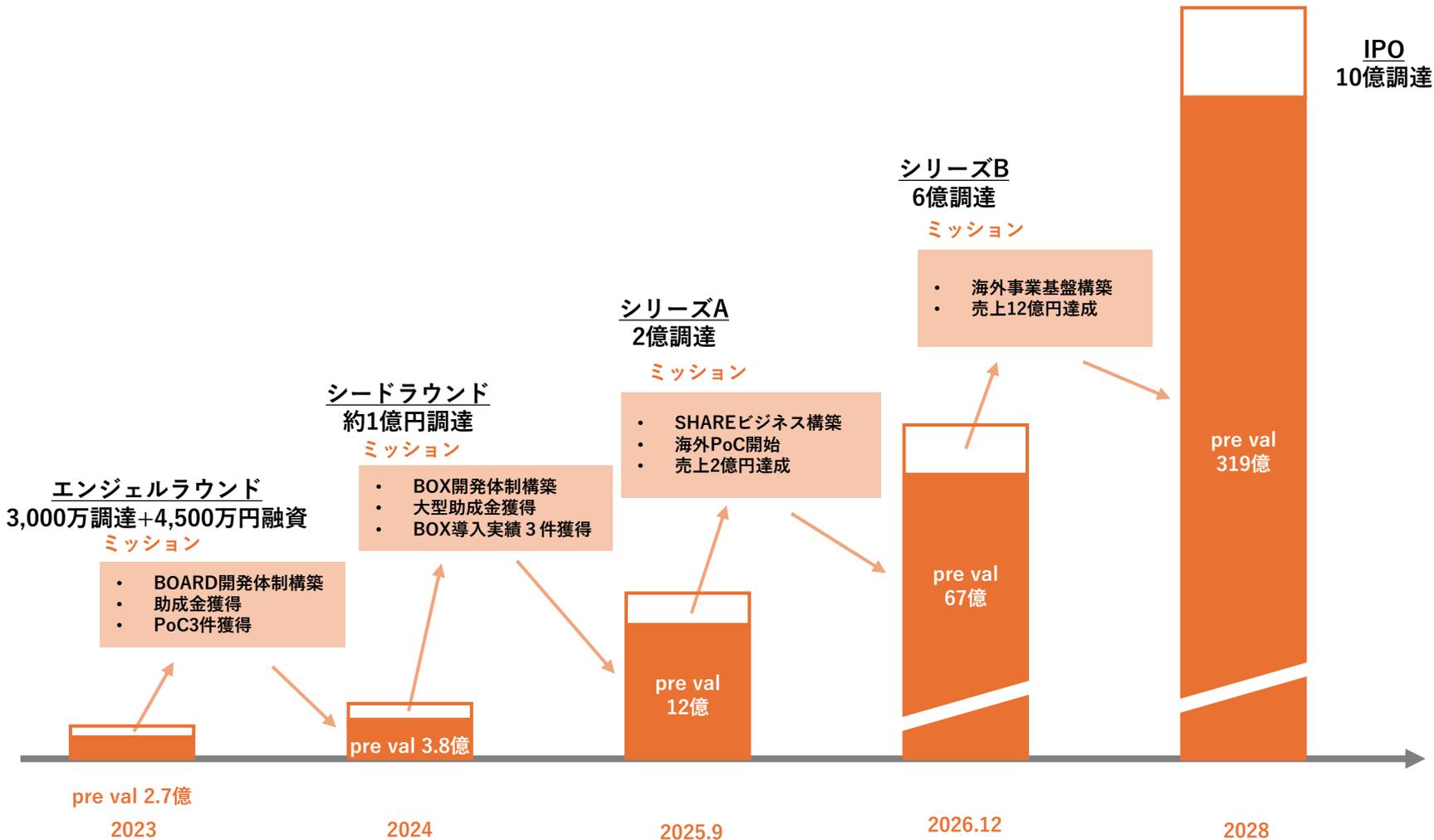
鎌倉投信
KAMAKURA TOUSHIN

ANOBAKA



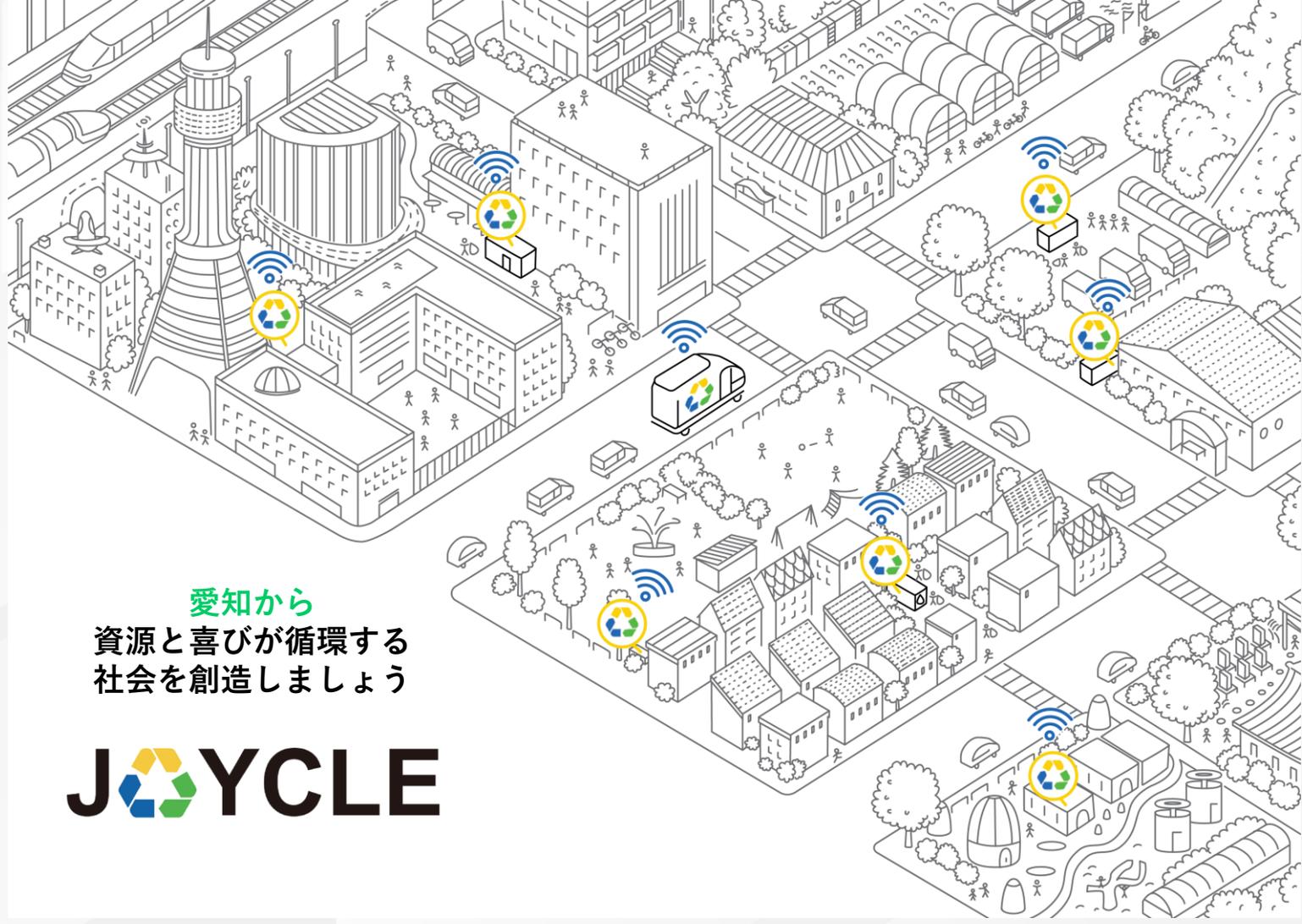
TERRADA

- ① 前澤 友作様 : ZOZO TOWN創業者（追加投資）
 - ② 中村 貴裕様 : 元ispace COO Midtown代表
 - ③ 篠原 豊様 : 静岡ベンチャーSU協会理事
 - ④ 畠岡 潤一様 : SyncMOF社 代表取締役社長
 - ⑤ 齊藤 麻子様 : 元LVMH 顧客戦略ディレクター
 - ⑥ 市川 隆志様 : 元双日サステナ推進室上級主任
- など



JOYCLEはレガシー企業様との オープンイノベーションの核として 愛知から世界を変えるインフラを開発





愛知から
資源と喜びが循環する
社会を創造しましょう

J  **YCLE**

Reference

直近トラクション・予定

融資・シリーズA調達に向け邁進中

- 8月 シード資金1億円調達成功 北九州市様800万円補助金獲得
- 9月 通信・電力会社様からの装置購入内諾⇒予定売上約6,000万円
- 10月 石狩市様70万円補助金獲得 鎌倉サーキュラーアワード金賞受賞
- 11月 JETRO様J-StarX採択 シリコンバレーにて日本代表としてピッチ
- 12月 3,000万円追加融資獲得予定
- 1月 装置試作品完成 東京都内自治体様への寄贈・POC開始予定
- 2月 現地鉄道会社様よりご要望ありタイ渡航予定

2025秋までの最重要目標

- ① 自治体様寄贈案件での
JOYCLE BOARDの基本機能の確定・実走
- ② JOYCLE BOX量産化体制の決定
- ③ 案件10件・1億円分の共同開発案件の内定
- ④ ハードウェアエンジニア・PM人材の獲得
- ⑤ 企業版ふるさと納税案件の型化

JOYCLEはハード・ソフトに強く 各地にて知見・ノウハウのある仲間がいる

ハードウェア
強

JOYCLE

産廃業者と連携：3社

自治体支援：5府県

大学技術検討：3校

特許
出願済み

プラントメーカー

アナログな老舗企業が多い

JOYCLEへの承継依頼もあり

弱

強

産廃業者

環境意識が高まる一部の
優良企業あり

新規事業を中々生み出せない
ドライバーを採用できない

弱

ソフトウェア

産廃ベンチャー
DXコンサル

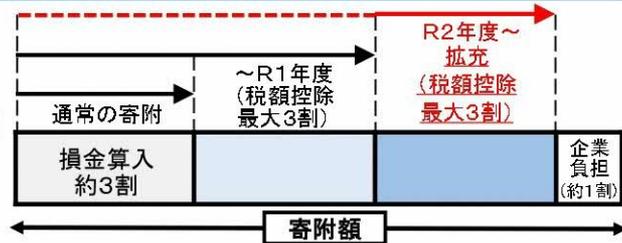
ハードもセット提供している
プレイヤーがほぼいない

企業版ふるさと納税

地方公共団体が行う地方創生の取組に対する企業の寄附について法人関係税を税額控除

制度のポイント

- 企業が寄附しやすいよう、
 - ・損金算入による軽減効果に税額控除による軽減効果を上乘せ
 - ・寄附額の下限は10万円と低めに設定
- 寄附企業への**経済的な見返りは禁止**
- **寄附額は事業費の範囲内**とすることが必要
 - ※ 不交付団体である東京都、不交付団体で三大都市圏の既成市街地等に所在する市区町村は対象外。
 - ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外。



例) 1,000万円寄附すると、**最大約900万円**の法人関係税が軽減。

- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

活用の流れ

①地方公共団体が
地方版総合戦略を策定



②①の地方版総合戦略を
基に、地方公共団体が
地域再生計画を作成



④寄附



⑤税額控除

企業が所在する自治体
(法人住民税・法人事業税)



◆ 地域再生計画の認定を受けた地方公共団体の数: 45道府県655市町村(令和2年度第1回認定後)

企業版ふるさと納税との相性◎

低コストに、環境貢献しながら、
自治体様のお役に立てます

PJ組合

寄付企業様



自治体様

JOYCLE

公共案件に再利用
インパクトを可視化し
分散型インフラ本格検討へ

自治体様



環境・経済貢献
データ可視化



重量データを基に
最適回収

地元企業様

売電・クレジット創出
POCデータ獲得

寄付企業様



(セラミック灰)